

# 理研会報

行研究部  
科研究局  
事務小学校  
印成田市幸町948-1

特集 「私の授業実践」

ることを確認した。次に、前日から箱をかぶせて暗い環境にあるラッカセイの箱を取り、向かい合つた葉の表側が重なるように閉じている葉をスケッチした。今回は四十分後に再び観察し、葉が開いた状態をスケッチした。

(4)児童の感想

次のように身近な植物であるラッカセイについての再発見に素直に感動する感想が多くあつた。

八街市立交進小学校 下畦 能正 り、オジギソウの葉の動きはよく知られていたりすることなので、それは開かないだろう」と思った。

興味はわいても心の中に大きくなゆでも、四十分経つて見たら、開いた。とてもびっくりした。植えをおこすにはいたらなかつた。また、今日は用いなかつたが、葉物の葉は開くんだとしても感心し

の動きという点では食虫植物もおもしろい素材だと考えられる。

私は、ラッカセイの葉が朝開かけてラッカセイ畑が多く存在し、八街の名産品といえはスイカとともにラッカセイと多くの児童が思つてるので、ラッカセイは児童にとって、身近な（名前を聞けばあれだとわかる）植物だと考えられる。

そのラッカセイを種からプランターで栽培した。水やりなどの世話をや、気づいたことの記録を交替でした。その記録カードを教室に掲示して、だれもがいつでも見ることができるようにした。

②導入について

まず、一学期に学習した花の開閉運動について振り返った後、最初は教室内で栽培していたオジギソウで実験をした。触って葉の動きを楽しんでいた児童がいた

ることを確認した。次に、前日から箱をかぶせて暗い環境にあるラッカセイの箱を取り、向かい合つた葉の表側が重なるように閉じている葉をスケッチした。今回は四十分後に再び観察し、葉が開いた状態をスケッチした。

一一 小学校六年「人の生活と自然環境」での実践

この単元では、人が環境と関わって生きていることを一つのまとまりとしてとらえ、子ども自らが

環境との関わりを調べる活動に重きを置いたものである。小中連携として、八街北中の古嶋美文先生と私が中学校の立場で週一～二回に参加させていただいたので、その報告を中心にしていきたい。

\*追求内容の決定 十一日

「土・日光・水・気温・食物・空氣・森林」からテーマを選択し

以下が成果と課題である。

・児童にとって担任以外の先生や中学校教諭との関わり、他学級について生きていることを一つのまとまりとしてとらえ、子ども自らが

環境との関わりを調べる活動に重きを置いたものである。小中連

携として、八街北中の古嶋美文先生と私が中学校の立場で週一～二回に参加させていただいたので、その報告を中心にしていきたい。

論として十一月から二月まで授業に参加させていただいたので、そ

して、小中連携の取り組みに着手している。八街中央中学区でも実

践し、実住小学校で小中連携公開

研究発表会が行われた。中学校教

諭として十一月から二月まで授業に参加させていただいたので、そ

して、小中連携の取り組みに着手

している。八街中央中学区でも実

践し、実住小学校で小中連携公開

研究発表会が行われた。中学校教

諭として十一月から二月まで授業に参加させていただいたので、そ